

参考様式第1及び参考様式第2の別添3

漁業集落復興効果促進事業の概要を示す書類

| | | | |
|------|---|-----|---------------------|
| 事業番号 | ★ C 5 - 3 - 2 | 事業名 | (30) 水産業・漁村復興支援調査事業 |
| 事業概要 | <p>【基幹事業との関連性】 釜石市が「魚のまち」としての復興を掲げる中で、漁業集落防災機能強化事業地域内の釜石漁港域を生産現場とする漁業生産者等に主眼を置いた地域資源の発掘と活用調査、実証試験を行い、「釜石らしさ」を持った地域水産業の情報発信のあり方や、水産業と観光・商業機能の連携方策について検討を行い、漁業集落の活性化および産業とくらしの共生を目的とした実証事業を行う。なお、実施においては、震災後に当市に設置された岩手大学(三陸水産研究センター)へ委託する形態とし、産学官連携をイメージした「釜石モデル」としての構築を目指す。</p> <p>■事業の方向性 平成25年度に策定した「アクションプラン」に基づき、また、これまでの取組を踏まえ、平成27年度は以下の実証を継続する。</p> <p>■平成27年度業務項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 釜石産の原材料を活用して健康に配慮した水産加工品の開発 <ul style="list-style-type: none"> ●平成26年度に取り組んだ「ニュータイプ新巻鮭」の検証及び製品化 →平成27年4月開業の「道の駅」での販売化実現に向けた取り組み ●加工品開発講習(釜石産水産物を原材料とした新メニュー開発) →・鮭の燻製 <ul style="list-style-type: none"> ・加工原料として相応しい釜石産水産物の特徴づけ ●地元水産物と地元農産物のコラボレーション化、商品開発に向けた取り組み ●地产品による「健康」へのアプローチ →・地域の食材(主に水産物)を用いた食生活の減塩化に向けた取り組み ・モル濃度(=食塩使用量)の減少に向けた釜石産わかめ、マツモの活用検討 2. 地産地消・旬産旬味への取組 <ul style="list-style-type: none"> ●市内公民館事業、市健康推進課と連携した「魚食普及講座」の継続 3. 直接販売への取組 <ul style="list-style-type: none"> ●これまでの視察交流を活かした産地間交流の展開(漁協間交流の展開による消費力活性化) <ul style="list-style-type: none"> ●岩手銀河プラザでの成果発表(PR及び販売又はアンケート調査) 4. 漁業後継者対策への取組 <ul style="list-style-type: none"> ●漁業者後継者問題へのアプローチ(「里山里海マイスター制度」の実証に向けた取組) 5. 総合的な取り組み <ul style="list-style-type: none"> ●釜石地区漁協女性部活動協議会(仮称)の設立及び将来的な独立運営へのアプローチ ●地域水産ブランドの取組を通じた地域が儲かる仕組みづくり (釜石産水産物ブランド研究会の立ち上げ、運営) <p>■委託費 「魚のまち」釜石モデルアクションプラン実証業務委託・一式 5,305,000円</p> <p>■業務委託先 岩手大学</p> <p>■事業期間(目標) 平成27年8月3日～平成28年3月31日</p> | | |

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業名ごとに作成し、概要を示す図面を添付してください。